取扱説明書

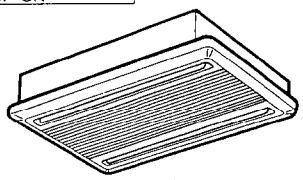
DC-22CEB-AT 型 (9112/35) セパレート型エアコン
DC-35CEB-ATK型 09141135

組合わせる室外ユニット型名

室内ユニット		DC-22CEB-AT	DC-35CEB-ATK
冷房用室外ユニット	インバータ	DCS-22SH-I	DCS-35SH-IK
	定速	DCS-22SH DCS-22SB-T DCS-22SA-C	DCS-35SH-K DCS-35SA-CK
2室マルチ型	インバータ	DCS-482H-2IK	———
	定速	DCS-282F-2 DCS-282B-3T DCS-452F-2K	———
3室マルチ型	インバータ	DCS-563H-2IK	
	定速	DCS-633F-3K	

このたびは東京ガスのセパレート型エアコンをお買い上げくださいましてありがとうございます。

- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書を紛失されたときは、機器の型式名と製造年月を確かめ、お買い求めの販売店にご相談ください。



目次

ページ

ワイヤレスリモコン
- ◎安全にお使いいただくために……安全1
- ▣簡単な操作のしかた……1
- ▣機能と特長……2
- ▣各部の名称とはたらき
  - ■室内・室外ユニット……3
- □ワイヤレスリモコンの各部の名称とはたらき
  - ■リモコン表示部・操作部……4
- ▣お使いになる前に
  - ■初めてお使いになるときは……8
  - ■リモコンの準備……8
  - ■現在時刻の合わせかた……9
  - ■アドレススイッチについて……11
- ▣操作のしかた
  - ■自動運転のしかた……12
  - ■手動運転のしかた……13
  - ■高温風/急冷運転のしかた……14
  - ■単独空清（空気清浄）運転のしかた……14
  - ■タイマー運転のしかた……15
  - ■さわやかセーブ運転のしかた……18
  - ■応急運転のしかた……19

ページ

ワイヤードリモコン
- □ワイヤードリモコンの各部の名称とはたらき
  - ■リモコン表示部・操作部……20
- ▣お使いになる前に
  - ■初めてお使いになるときは……22
  - ■現在時刻の合わせかた……22
- ▣操作のしかた
  - ■自動運転のしかた……23
  - ■手動運転のしかた……24
  - ■タイマー運転のしかた……25
  - ■高温風/急冷運転のしかた……28
  - ■単独空清（空気清浄）運転のしかた……28
  - ■さわやかセーブ運転のしかた……29
  - ■風向調節のしかた……30
  - ■空気清浄フィルター……31
  - ■アメニティドライ・パワフルドライ……32
- ▣じょうずな使い方……33
- ▣使用上のご注意……34
- ▣設置について……36
- ▣日常の点検とお手入れ……37
- ▣故障かな？と思ったら……39
- ▣アフターサービスについて……41
- ▣長期間使用しない場合……42
- ▣仕様・寸法図……43

TOKYO GAS

機器名	機器コード							機番号		通し番号		打出番号
DC-35CEB-ATK	0	9	1	4	1	3	5	1	3	0	1	1

安全にお使いいただくために

PL法対応

安全に関する重要な内容ですのでよくお読みのうえ、必ずお守りください。

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの「取扱説明書」および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が負傷を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

■絵表示については次のような意味があります。

- 一般的な注意
- 一般的な注意
- 手を触れるな
- 必ず行う
- アースを接続せよ
- 電源プラグを抜く
- 回転物注意

⚠警告

機器の設置（および付帯工事）について

- ●機器の設置・移動および付帯工事はお買いあげの販売店に依頼し、安全な場所に正しく設置して使用してください。
- ●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。
  万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発・火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

- ●冷風・温風を直接長時間体に当てない
  長時間冷温風を身体に直接当てたり、冷やしすぎないようにしてください。
  体調悪化・健康障害の原因になります。

- ●空気の吹出口や吸込口に指や棒等を入れない。
  内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になります。
  特に小さなお子様にはご注意ください。

低温やけどに注意

- ●温風の直接当る場所での就寝禁止
  低温風でも連続的に当ると低温やけどの原因になります。
  特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
  *乳幼児、お年寄り、病人など自分の意思で体を動かせない方
  *疲労の激しいとき、飲酒したとき
  *皮膚の弱い人

安全にお使いいただくために

⚠警告

電気事故防止のために（電源コード（本体付きまたは別売）を使用の場合）

- ●電源プラグは必ず機器専用のコンセントへ
  電源コードは、途中で接続したり延長コードを使用することは絶対にしない。
  感電・火災の原因になります。
  電源プラグは必ず機器専用のコンセントに直接差し込んでください。

- ●電源コードは改造したり破損しない
  電源コードは、改造したり、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。
  発熱や発火の原因になります。
  電源プラグは必ず機器専用のコンセントに直接差し込んでください。
- ●電源プラグの差し込みは確実に
  電源プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと感電・火災の原因になります。

- ●電源プラグで停止をしない
  電源プラグを抜いたり、電源コードを引っ張ったりすることにより機器の停止をしないでください。
  プラグやコンセントがいたみ、感電・火災の原因になります。

異常時の注意

- ●異常時（こげ臭い等）は運転を停止し、ブレーカーを切るか、電源プラグ（電源コード使用の場合）をコンセントから引き抜いてください。
- ●地震、火災などの緊急の際はあわてずに運転を停止してください。

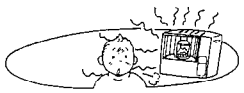
火災予防のために

- ●機器の周囲にスプレー缶を置かない
  熱でスプレー缶の圧力が上り、爆発するおそれがあります。
- ●引火のおそれのあるものは使用しない
  機器の周辺では、ガソリン・ベンジンなど引火のおそれのあるものは使用しない。火災の原因になります。

⚠注意

使用上のご注意

- ●こまめに換気
  燃焼機器と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
  換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

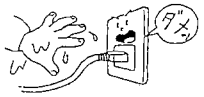


- ●燃焼機器に風を当てない
  エアコンの風が直接当たるところに燃焼機器を置かない。
  燃焼機器の不完全燃焼の原因になることがあります。

⚠注意

- ●機器の上に乗らない
  機器の上に乗ったり、物をのせたりしないでください。
  落下・転倒により、ケガの原因になることがあります。

- ●濡れた手で、電源プラグ（電源コード使用の場合）をさわらないでください。感電のおそれがあります。



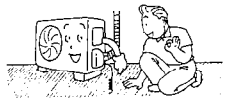
- ●電源プラグ（電源コード使用の場合）の抜き差しは、電源プラグを持って行ってください。
  引っ張って抜くと芯線の一部が断線して発熱・火災の原因になることがあります。

凍結予防について

- ●水の凍結による機器の破損を予防するため、緊急の場合以外は電源を切らないでください。
  ブレーカーを切ったり、電源プラグ（電源コード使用の場合）を抜いたり、ガス栓を閉めると作動しません。

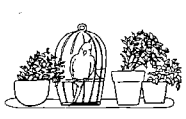
電気事故防止のために

- ●必ずアース工事をする
  アースがない場合、帯電した機器表面に手を触れると、電気を感じることがあります。
  また、アースはガス管、水道管、避雷針、電話アース線には絶対に接続しないでください。
  アースが不完全ですと、感電の原因となることがあります。



施工上のご注意

- ●設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。お買い上げの販売店またはガス事業者に相談してください。
  漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
- ●ドレンホースは、確実に排水するように配管してください。
  不確実な場合は屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
- ●動植物には直接風を当てない
  動植物に直接風が当たる場所には設置しないでください。
  動植物に悪影響をおよぼすことがあります。



- ●機器の上に花ビン、植木鉢等水の入った容器を乗せないでください。
  塗装がさびて、機器内部に浸水して電気絶縁が劣化し、故障・感電の原因になることがあります。

⚠注意

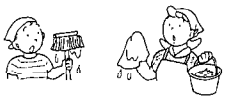
禁止 ●他の目的に使用しない
この機器は人の居室用です。精密機器・食品・動植物・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。品質低下の原因になることがあります。

●掃除のときは停止
エアコンを掃除するときは必ず運転を停止にし、電源プラグ(電源コード使用の場合)も抜いてください。
このときファン停止を確認してください。
内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがあります。

停止する

●エアコンを水洗いしないでください。
故障・感電の原因になることがあります。

禁止



禁止 ●室外ユニットの据付台を確認
長期使用で据付台等がいたんでいないか注意してください。いたんだ状態で放置するとユニットの転倒につながりケガ等の原因になることがあります。

リモコンご使用上の注意

禁止 ●リモコンに水などをかけたり、分解などのいたずらをしないでください。
誤動作や故障の原因となります。

お願い

設置状態の確認

●機器の設置にあたって、次の項目をチェックしてください。
①機器は水平なところ(確実に設置できるところ)に設置してある。
②棚の下など落下物による危険の心配がない。
③足場などを組まなければメンテナンスができない高所に設置されていない。
④近隣の家が騒音(運転音など)で迷惑にならない場所に設置してある。

指定の付属品以外は使用しない

●この機器用の付属品、あるいは指定のもの以外は使用しないでください。
故障や事故の原因となることがあります。

乾電池交換時の注意

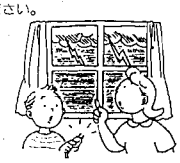
●リモコン(コードレスリモコン使用の場合)の乾電池は、新しいものと古いものなど、違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
挿入方向も間違えないでください。

禁止

雷が鳴ったときは

●雷による一時的な過電流で、電子部品を損傷することがありますので、雷が鳴ったときはすみやかに運転を停止しブレーカーを切るか、電源プラグ(電源コード使用の場合)をコンセントから抜いてください。

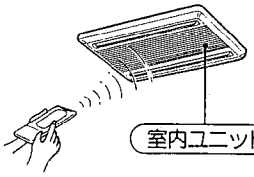
プラグをコンセントから抜く

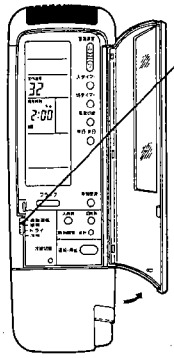


機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
09141351	13	02	1

簡単な操作のしかた

ワイヤレスリモコン(別売)

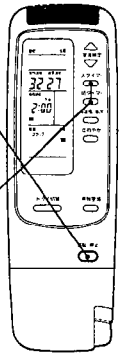




1 冷暖切替つまみを「自動運転」にします。
2 運転/停止ボタンを押します。

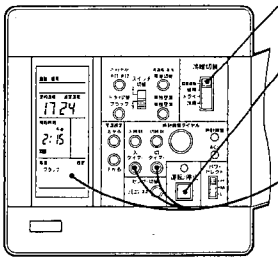
確認 「入タイマー」または「切タイマー」の表示がある場合は 入タイマーボタンまたは切タイマーボタンを押して表示を消してください。

停止 運転/停止ボタンをもう一度押します。



くわしくは12ページをごらんください。

ワイヤードリモコン(別売)



1 冷暖切替つまみを「自動運転」にします。
2 運転/停止ボタンを押します。

確認 「入タイマー」または「切タイマー」の表示がある場合は 入タイマーボタンまたは切タイマーボタンを押して表示を消してください。

停止 運転/停止ボタンをもう一度押します。

くわしくは23ページをごらんください。

機能と特長

1 冷房時、インバータ制御で一気に冷房します。
冷房運転開始時は大きな能力で一気に冷房、適温になれば自動的に小さな能力に切り替えて、経済的で快適な冷房ができます。

2 2種類のドライ運転が選べます。(ドライ切替ボタンで切り替え)
●アメニティドライ(快適ドライ)
お好みの温度をキープして快適湿度を保ちますので、つゆどき、秋の長雨時にご使用になると効果的です。
●パワフルドライ運転
洗濯物の乾燥や、ダニ、カビの繁殖を抑えるのに役立ちます。

3 快適予約タイマー(☞17,27ページ)
入タイマー運転に備わった機能です。

4 ワイヤレスリモコンの場合
混信防止用アドレススイッチ付き(☞11ページ)
1部屋に2ユニット2台から3台を使用する場合も、アドレススイッチを変更することによって、別々のリモコンで操作ができます。

5 自動運転機能(☞12,23ページ)
●冷暖切替つまみを自動運転にしておけば、あとは運転/停止ボタンを押すだけの簡単操作です。
●機器が、その時の室温を感知し、運転コース(暖房・冷房・ドライ)、設定温度を自動的に選んで運転します。

6 平日/休日、プログラムタイマー(☞17,27ページ)
入タイマーと切タイマーを組合わせてセットでき、1度セットすれば毎日同じ時刻に運転・停止させることができます。また、平日、休日の切り替えができ、別々の時刻をセットできます。

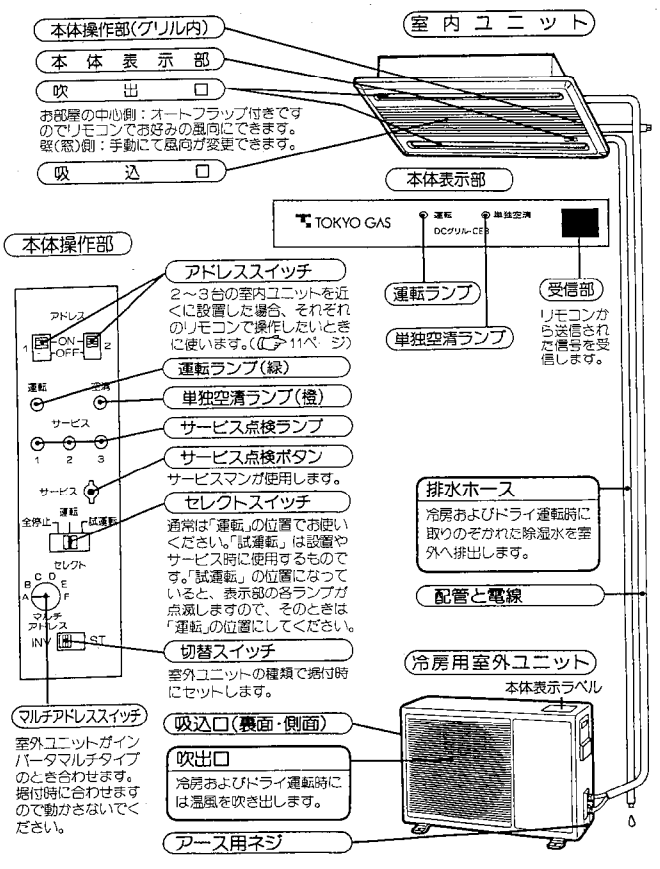
7 さわやかセーブ運転(☞18,29ページ)
●就寝中の冷え過ぎ、暖めすぎを自動的にセーブし、健康で経済性を考えたさわやかセーブ運転ができます。

8 高温風/急冷ボタン付き(☞14,28ページ)
暑いお買い物帰りや、お風呂あがりに、また冬の帰宅時などの使用をおすすめします。

9 空気清浄フィルター付き(単独空清)(☞31ページ)
空気中のチリやホコリを取り除き、たばこの煙などを軽減します。

10 テレコントロールシステム(別工事)ができます。
テレコントロールシステムをHA端子に接続することにより、外出先から電話で運転・停止ができます。

各部の名称とはたらき

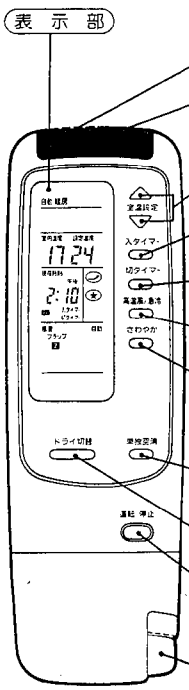


機器コード						形番号		連番号		工事番号	
0	9	1	4	1	3	5	1	3	0	3	1

各部の名称とはたらき

ワイヤレスリモコン

リモコン表示部・操作部



表示部

温度センサー
リモコンのまわりの温度を感知します。

送信部
リモコンからの信号を室内ユニットへ送信します。

室温設定ボタン
△は設定温度を上げます。
▽は設定温度を下げます。

入タイマーボタン
入タイマー運転するときに使用します。
押すと「入タイマー」表示をし、もう一度押すと消えます。

切タイマーボタン
切タイマー運転するときに使用します。
押すと「切タイマー」表示をし、もう一度押すと消えます。

高温風 / 急冷ボタン
高温風 / 急冷運転するときに使用します。
押すと◯の表示をし、もう一度押すと消えます。

さわやかボタン
さわやかセーブ運転するときに使用します。
押すと★の表示をし、もう一度押すと消えます。

単独空清ボタン
空気清浄運転するときに使用します。
押すと室内ユニットの単独空清ランプが点灯し、もう一度押すと消えます。

ドライ切替ボタン
アメニティドライ、パワフルドライの切り替えをします。

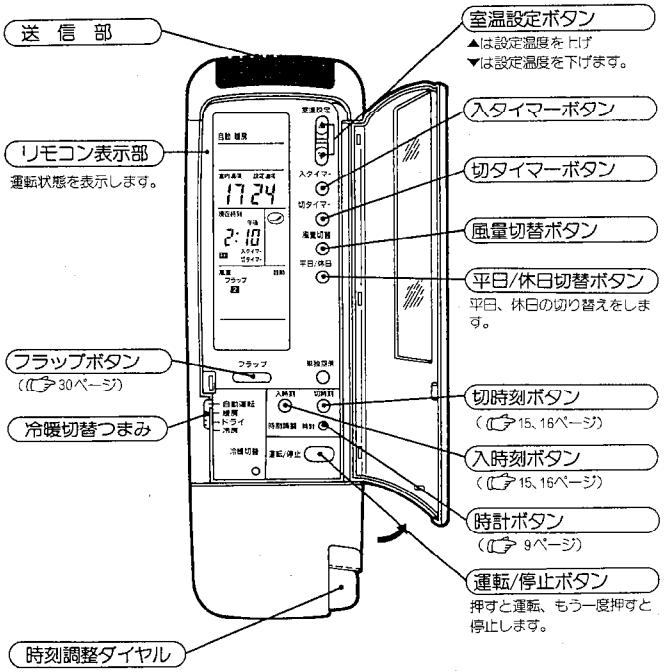
運転 / 停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

時刻調整ダイヤル
現在時刻、タイマー時刻を合わせるときに使用します。

各部の名称とはたらき

ワイヤレスリモコン

リモコン表示部・操作部



送信部

リモコン表示部
運転状態を表示します。

フラップボタン
（☞30ページ）

冷暖切替つまみ

室温設定ボタン
▲は設定温度を上げ
▼は設定温度を下げます。

入タイマーボタン

切タイマーボタン

風量切替ボタン

平日/休日切替ボタン
平日、休日の切り替えをします。

切時刻ボタン
（☞15、16ページ）

入時刻ボタン
（☞15、16ページ）

時計ボタン
（☞9ページ）

運転/停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

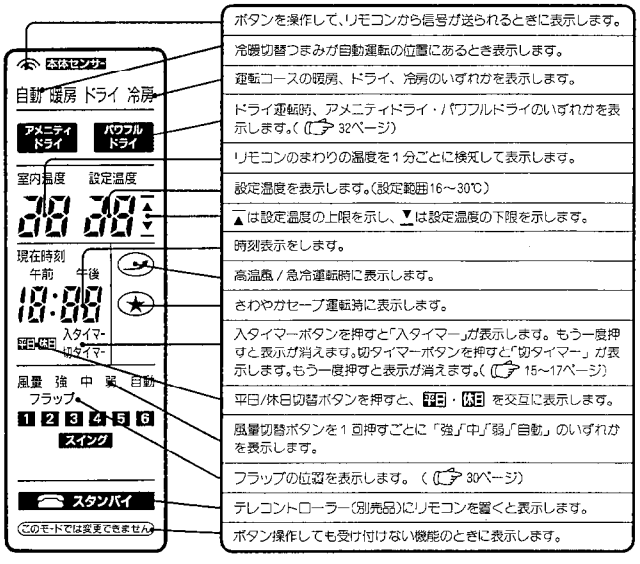
時刻調整ダイヤル
現在時刻、タイマー時刻を合わせるときに使用します。

各部の名称とはたらき

ワイヤレスリモコン

リモコン表示部

図は説明のためすべてを表示させた状態にしてあります。
実際は該当部のみ表示します。

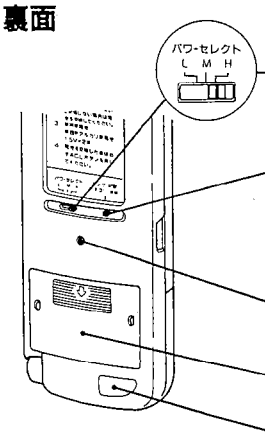


送信	ボタンを操作して、リモコンから信号が送られるときに表示します。
温度センサー	冷暖切替つまみが自動運転の位置にあるとき表示します。
自動 暖房 ドライ 冷房	運転コースの暖房、ドライ、冷房のいずれかを表示します。
アメニティドライ パワフルドライ	ドライ運転時、アメニティドライ・パワフルドライのいずれかを表示します。（☞32ページ）
室内温度	リモコンのまわりの温度を1分ごとに検知して表示します。
設定温度	設定温度を表示します。（設定範囲16～30℃）
▲ ▼	▲は設定温度の上限を示し、▼は設定温度の下限を示します。
現在時刻 午前 午後	時刻表示をします。
◯	高温風 / 急冷運転時に表示します。
★	さわやかセーブ運転時に表示します。
入タイマー 切タイマー	入タイマーボタンを押すと「入タイマー」が表示します。もう一度押すと表示が消えます。切タイマーボタンを押すと「切タイマー」が表示します。もう一度押すと表示が消えます。（☞15～17ページ）
平日 休日	平日/休日切替ボタンを押すと、平日・休日を交互に表示します。
風量 強 中 弱 自動	風量切替ボタンを1回押すごとに「強」「中」「弱」「自動」のいずれかを表示します。
フラップ	フラップの位置を表示します。（☞30ページ）
スタンバイ	テレコントローラー（別売品）にリモコンを置くと表示します。
このモードでは変更できません	ボタン操作しても受け付けない機能のときに表示します。

各部の名称とはたらき

ワイヤレスリモコン

裏面



パワーセレクトつまみ（インバータタイプの場合）

運転電流の上限を切り替えることができます。必要な場合は運転前に切り替えてください。
（通常位置H）

センサー切替ボタン

室温を感知するセンサーがリモコンと本体にあります。
出荷時はリモコンのセンサーがはたらいています。
リモコンの設置場所が熱の影響を受ける場合には、このボタンを押して本体センサーに切り替えてください。
本体センサーに切り替えた時にはリモコン表示上部に 本体センサー マークが表示されます。

テレコンスイッチ

テレコントローラー（別売品）にリモコンを置くとリモコンに「 スタンバイ 」のマークが表示されます。

電池収納部

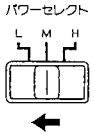
アルカリ乾電池（単4形2本）を使います。

テレコントローラー受信部

テレコントローラー（別売品）から信号を受信します。
テレコントローラーは、外出先から電話でエアコンの運転・停止ができる商品です。

パワーセレクトの働きについて…

- メインブレーカ（家全体）の電気容量に余裕がない場合、パワーセレクトをM又はLに設定することにより、エアコンの使用電気量を低くおさえて他の電気製品との同時使用をできるようにします。
- 但し設定をM又はLにするとエアコンの最大能力は小さくなります。
（室外ユニットがインバータタイプの場合のみ効果が有ります。）



お使いになる前に

ワイヤレスリモコン

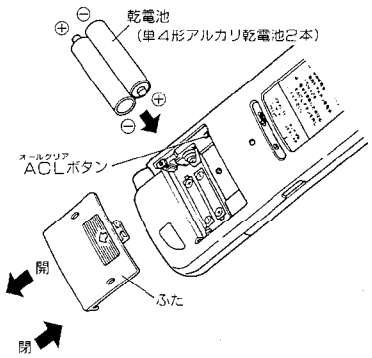
エアコンを使い始める前に、次の準備を行います。

初めてお使いになるときは

電源を入れます。
本体操作部のセレクトスイッチを運転にします。

リモコンの準備

電池交換のしかた



1 ふたをはずします。

2 乾電池を入れます。
⊕⊖極を正しく、表示にしたがって入れます。

3 オールクリア ACLボタンを押してから、ふたを取り付けます。

4 午後0:00の表示を確認します。
時刻を合わせます。
（☞ 9ページ）

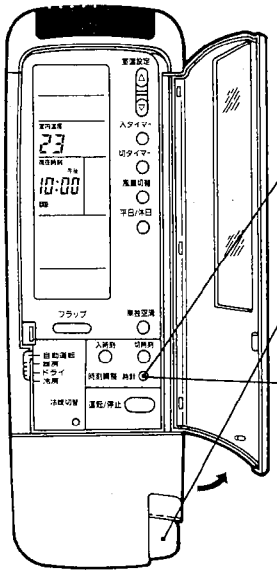
ご注意
- 電池は、古いものや、種類のちがうものをまぜて使わないでください。動作しないことがあります。
- 電池の漏液による故障をさけるため、長期間お使いにならないときは電池を全部取り出してください。
- 通常のご使用で電池の寿命は約1年です。
- エアコンの受信音がしなくなったり、リモコンの「送信表示」が点灯しなくなったら電池を交換してください。

お使いになる前に

ワイヤレスリモコン

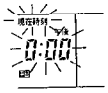
現在時刻の合わせかた

はじめてお使いになるときなどは現在時刻を合わせます。
現在時刻を合わせなくても、通常の運転はできますが、正しいタイマー運転のセットはできません。

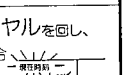


（例）午後9時10分の合わせかた

1 **時計ボタン**を押します。
時刻が点滅します。



2 **時刻調整ダイヤル**を回し、午後「9：10」に合わせます。
時刻は1分単位で設定できます。



3 **時計ボタン**をもう一度押します。
時刻セット完了です。

合わせなおすとき
もう一度手順1から操作しなおします。

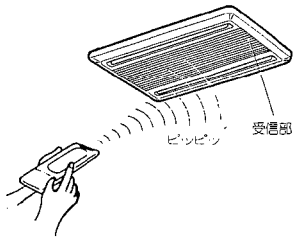
機器コード							情報番号		通し番号		初期値
0	9	1	4	1	3	5	1	3	0	4	1

お使いになる前に

ワイヤレスリモコン

リモコンの取り扱いかた

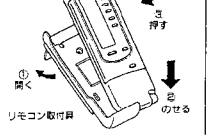
- 操作は、受信部（本体）に向けてください。



リモコン取付具について

手もとでご使用になる場合

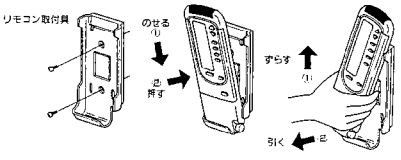
- リモコン取付具にリモコンをのせて、お使いください。
- 運転中は、リモコンの信号が常時受信できる位置にリモコンを置いてご使用ください。（室内温度が設定温度にならない場合があります。）



壁などに取り付けてご使用になる場合

（確実に受信することを確認してください。）

- リモコン取付具をねじで止めます。
- リモコンの取り付け
- 取り出し



ご注意
- 本体とリモコンの間にカーテン、ふすまなど信号をさえぎるものがあると受信できません。
- リモコンにジュースや水などの液体がかからないように注意してください。
- リモコンを直射日光の当たる所や、ストーブ・コタツや電気カーペットなどの熱源があるところ、冷温風が直接当たるところは置かないでください。
- 電子式点灯方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受けつけない場合があります。あらたに蛍光灯を買われる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- リモコンで他の電気機器が動作する場合は、電気機器を離すか、お買い求めの販売店にご相談ください。

お使いになる前に

ワイヤレスリモコン

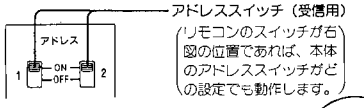
アドレススイッチについて

1室に1台の室内ユニットを設置し、混信のない場合は調整する必要はありません。
3台までの室内ユニットとリモコンの信号が混信しないように送信、受信の信号を区別できるようにしてあります。それがアドレススイッチです。
室内ユニットには受信用、リモコンには送信用のアドレススイッチがあります。
送信用、受信用のアドレススイッチを合わせることにより機能を発揮します。

アドレススイッチの位置

室内ユニット

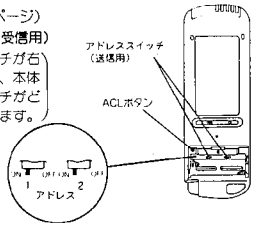
室内ユニット本体操作部にあります。(☞ 3ページ)



（リモコンのスイッチが右図の位置であれば、本体のアドレススイッチがどの設定でも動作します。）

リモコン

裏ぶたをはずし電池をはずした状態



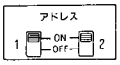
ご注意 図は工場出荷時のスイッチの位置を示しています。

アドレススイッチの合わせかた

アドレススイッチを調整した後は、必ずリモコンのACLボタンを押してください。
（現在時刻、入時刻、切時刻は初期設定となります。もう一度設定しなおしてください。）(☞ 9、15、16ページ)

1室に3台室内ユニットを据え付けた場合		室内ユニットA、B、Cをそれぞれのリモコンで操作する場合	室内ユニットA、B、Cを1個のリモコンで全部操作する場合 ※2
本体の種類	本体のアドレススイッチの位置	リモコンのアドレススイッチの位置	
Aユニット	アドレス ※1 1 ON OFF 2	ON OFF ON OFF 1 アドレス 2	ON OFF ON OFF 1 アドレス 2
Bユニット	アドレス 1 ON OFF 2	ON OFF ON OFF 1 アドレス 2	
Cユニット	アドレス 1 ON OFF 2	ON OFF ON OFF 1 アドレス 2	

※1.本体のアドレススイッチを右図のように合わせた場合室内ユニットAの場合と同じ働きになります。



※2.リモコンの到達距離によっては受信できない室内ユニットが発生することもあります。
この場合は動作しなかった室内ユニットの受信部にできるだけリモコンを近づけ、その室内だけ動作させてください。

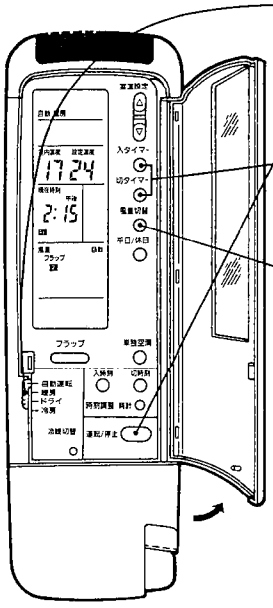
操作のしかた

自動運転のしかた

ワイヤレスリモコン

運転操作を簡単にすませたいときにお使いください。

- 電源(ブレーカー)が入になっていることを確認します。
- セレクトスイッチが運転の位置にあることを確認します。



1 冷暖切替つまみを「自動運転」にします。

2 運転/停止ボタンを押します。

3 「入タイマー」または「切タイマー」の表示がある場合は入タイマーボタンまたは切タイマーボタンを押して表示を消してください。

4 風量切替ボタンを押して自動、強、中、弱のいずれかにします。
自動にすると風量は室内温度と設定温度の差に応じて自動的に切り替わります。

自動運転時の設定内容

- 運転開始時の室内温度によって運転コースと設定温度は自動的につぎのようになります。

運転開始時の室温	運転コース	設定温度
30℃以上	冷房	27℃
28～29℃		26℃
26～27℃		25℃
18～25℃	アメニティドライ	24℃
17℃以下	暖房	

設定温度を変えるとき

プログラムの設定温度をお好みに応じて±2℃の範囲で変更し、記憶させることができます。自動運転中に室温設定ボタンを押して変更してください。

- 停止後2時間以内に再度運転した場合は、停止前と同じ運転内容になります。

停止 運転/停止ボタンをもう一度押します。

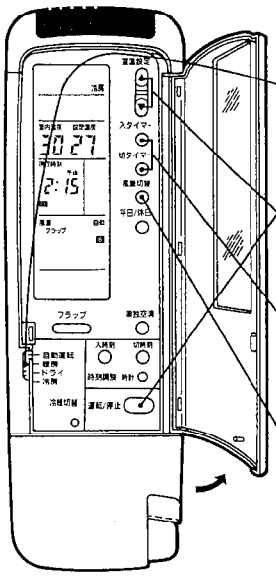
操作のしかた

手動運転のしかた

ワイヤレスリモコン

自動運転をせずに、お好みの運転をしたいときは、つぎの方法で運転します。
暖房運転・冷房運転・ドライ運転（運転条件35ページ）

- 電源(ブレーカー)が入になっていることを確認します。
- セレクトスイッチが運転の位置にあることを確認します。



1 冷暖切替つまみを「暖房」「冷房」「ドライ」のいずれかにします。

2 運転/停止ボタンを押します。

3 室温設定ボタンを押し、お好みの温度にします。
ボタンを1回押すごとに1℃ずつ設定温度が変化します。
16～30℃の範囲で設定できます。

4 「入タイマー」または「切タイマー」の表示がある場合は入タイマーボタンまたは切タイマーボタンを押して表示を消してください。

5 風量切替ボタンを押し、自動、強、中、弱のいずれかにします。
自動にすると風量は室内温度と設定温度の差に応じて自動的に切り替わります。

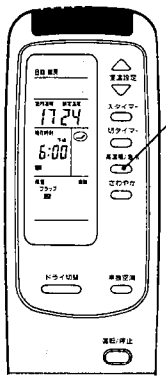
停止 運転/停止ボタンを押します。

操作のしかた

ワイヤレスリモコン

高温風/急冷運転のしかた

暑い夏のお買い物帰りやお風呂あがりに、また冬の帰宅時などに使用します。



運転 自動・暖房・冷房運転中に高温風/急冷ボタンを押します。
- リモコンに ⊘ 表示が点灯します。

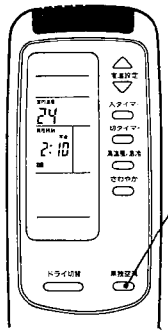
取り消し もう一度高温風/急冷ボタンを押します。
- リモコンの ⊘ 表示が消え、もとの運転にもどります。

高温風/急冷運転のしくみ

- 暖房時高温風/急冷ボタンを押してから、21分間は高温風運転をします。
- 冷房時高温風/急冷ボタンを押してから21分間強風の冷房運転をします。

単独空清（空気清浄）運転のしかた

単独空清(空気清浄機能)は空気中の煙、チリ、ホコリや、においを取り、タバコの煙などを軽減します。



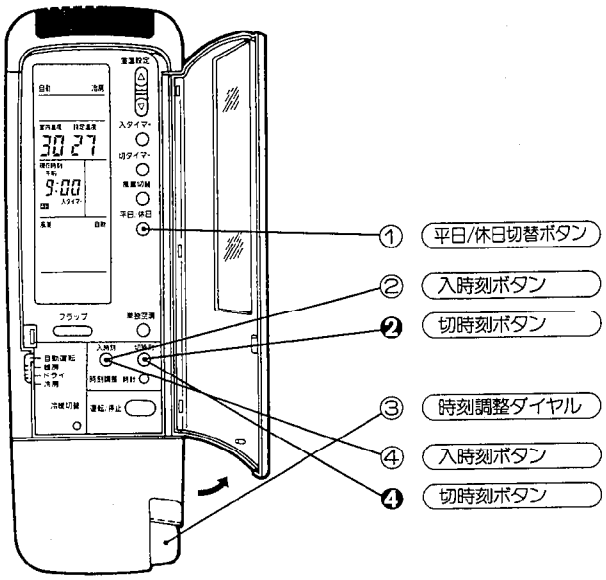
運転 エアコン停止中に単独空清ボタンを押します。
- 室内ユニットの単独空清ランプが点灯します。

取り消し もう一度単独空清ボタンを押します。
- 室内ユニットの単独空清ランプが消灯します。

機器コード							機種番号		通し番号		機種番号
0	9	1	4	1	3	5	1	3	0	5	1

ワイヤレスリモコン

●リモコンは信号が届く位置に置きます。(タイマー運転の信号はリモコンから送ります。)
●タイマー運転するときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認します。
●平日と休日の入(切)時刻は別々に合わせられます。手順2の①~④で設定してください。
一度セットすると、その内容が記憶されますので、つぎからは、平日、休日を選択して入(切)タイマーボタンを押す(「入タイマー」「切タイマー」が表示)だけで同じ運転ができます。

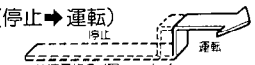


●出荷時、入時刻は平日のとき、午前6：00、休日のとき午前8：00に設定されています。
切時刻は平日のとき、午前0：00、休日のとき午前1：00に設定されています。

ワイヤレスリモコン

入タイマー運転のしかた

(停止➡運転)



おめざめ前や帰宅前などにお使いになると便利です。

1 あらかじめお好みの運転をします。
(☞12、13ページ)

2 入時刻を合わせます。
(例) 平日の午前7時10分に運転させたいとき

①平日/休日切替ボタン
を押して平日にします。

②入時刻ボタンを
押します。
「入タイマー」が点滅します。

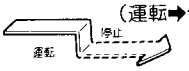
③時刻調整ダイヤルを回し、
午前7：10に合わせます。
時刻は10分単位で設定できます。

④入時刻ボタンを
押します。
「入タイマー」が消えます。
現在時刻表示にもどります。

3 入タイマーボタンを押し
入タイマー表示させます。
いったん運転が停止し、入タイマー運転に入ります。

切タイマー運転のしかた

(運転➡停止)



おやすみのときなどにお使いになると便利です。

1 あらかじめお好みの運転をします。
(☞12、13ページ)

2 切時刻を合わせます。
(例) 平日の午後11時30分に運転を停止させたいとき

①平日/休日切替ボタン
を押して平日にします。

❷切時刻ボタンを
押します。
「切タイマー」が点滅します。

③時刻調整ダイヤルを回し、
午後11：30に合わせます。
時刻は10分単位で設定できます。

❹切時刻ボタンを
押します。
「切タイマー」が消えます。
現在時刻表示にもどります。

3 切タイマーボタンを押し、
切タイマー表示させます。

ワイヤレスリモコン

プログラムタイマー運転のしかた

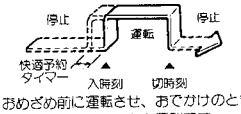
例1

(運転➡停止➡運転)

おやすみ中に停止させ、おめざめ前に再運転したいとき便利です。

例2

(停止➡運転➡停止)



おめざめ前に運転させ、おでかけのときに運転を停止させたいとき便利です。

1 あらかじめお好みの運転をします。
(☞12、13ページ)

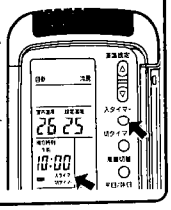
2 切時刻を合わせます。
入時刻を合わせます。
(15、16ページの方法でセットしてください。)
●切タイマー・入タイマーの組合せ運転になります。
●切タイマーと入タイマーを同じ時刻に合わせた場合、切タイマー運転になります。

3 入タイマーボタンを押し、
入タイマー表示を点灯させます。
切タイマーボタンを押し、
切タイマー表示を点灯させます。

例2 の場合はいったん運転が停止します。

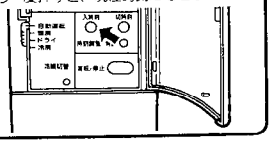
タイマー運転を取り消したいとき

●入タイマー表示がある場合は入タイマーボタンを押し、入タイマー表示を消します。
●切タイマー表示がある場合は切タイマーボタンを押し、切タイマー表示を消します。
●入時刻、切時刻は記憶しています。



入切時刻を確認したいとき

入(切)時刻ボタンを押します。
もう一度押すと、現在時刻にもどります。



入切時刻を変更したいとき

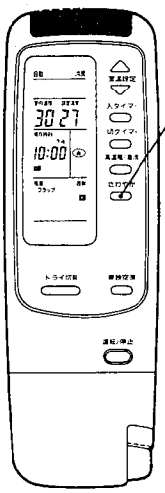
入(切)タイマー運転のしかた、手順2の①②③④にしたがって行ってください。
(☞16ページ)

快適予約タイマー機能について

●入タイマー運転は、セットされた時間にお部屋の温度がお好みの温度に近づけるよう、セット時間の0~60分前から運転を開始します。
●お部屋の大きさや状態により、セット時間にお好みの温度になっていないことがあります。

ワイヤレスリモコン

自動的に設定温度や風量を調節して、寝苦しさをやわらげます。



運転

自動・暖房・ドライ・冷房運転中に
さわやかボタンを押します。
●リモコンの ★ 表示が点灯します。

取り消し

さわやかボタンを押します。
●リモコンの ★ 表示が消え、もとの運転にもどります。

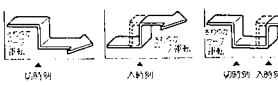
さわやかセーブ運転のしくみ

●室内ユニットの風量を自動的に下げ、静かな運転を行います。
●室内温度が設定温度に達した後、30分たちますと設定温度をつぎのように自動的に変更し、冷え過ぎや暖め過ぎのない経済運転を行います。

冷房、ドライ時	1℃高め(17~31℃の範囲で表示します。)
暖房時	4℃低め(12~28℃の範囲で表示します。)

●さわやかセーブ運転とタイマー運転を併用した場合

(切タイマー運転時) (入タイマー運転時) (プログラムタイマー運転時)



機器コード							情報番号		通し番号	
0	9	1	4	1	3	5	1	3	0	6	1

ご注意

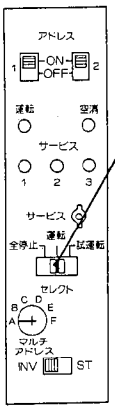
●冷房 運転中に室内温度が設定温度に達したときは、室内ファンは停止します。
●暖房運転中に室内温度が設定温度に達したときは、室内ファンは微風になります。

操作のしかた

ワイヤレスリモコン

応急運転のしかた

リモコンの紛失で操作ができないとき、応急的に使用します。



運転 セレクトスイッチをいったん全停止の位置にし、つぎに運転の位置にします。

運転ランプが点灯し、自動運転を行います。
- 運転開始時の室温に応じてエアコンが自動的に「暖房」「冷房」「ドライ」のいずれかを選び運転します。
設定温度、風量、フラップの位置も自動的に選びます。

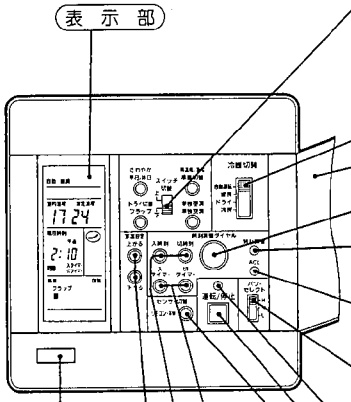
停止 セレクトスイッチを全停止の位置にします。
運転ランプが消えます。

機器コード							情報番号		通し番号		冗長番号
0	9	1	4	1	3	5	1	3	0	7	1

各部の名称とはたらき

ワイヤードリモコン

ワイヤードリモコン表示部・操作部



スイッチ切替つまみ
- 上にした場合
さわやか　高温風/急冷
ドライ切替　単独空清
の操作ができます。(☞4ページ)
- 下にした場合
平日/休日　風量切替
フラップ　単独空清
の操作ができます。(☞4ページ)

冷暖切替つまみ

とびら

時刻調整ダイヤル

時計調整ボタン
現在時刻の調整のときに押します。

ACLボタン
電源を入切したりしたときに押します。

パワーセレクトつまみ
インバータタイプの場合、運転電流の上限を切り替えることができます。必要な場合は運転前に切り替えてください。(通常位置H)(☞21ページ)

運転ランプ（緑）

運転/停止ボタン

センサー切替ボタン
室温を感知するセンサーがリモコンと本体にあります。出荷時はリモコンのセンサーがはたらいています。リモコンの設置場所が熱の影響を受ける場合にはこのボタンを押して本体センサーに切り替えてください。本体センサーに切り替えた時にはリモコン表示上部に 本体センサー マークが表示されます。

温度センサー
リモコンのまわりの温度を感知します。

室温設定ボタン
設定温度を調節します。

入タイマーボタン・切タイマーボタン

入時刻ボタン・切時刻ボタン
入または切タイマー時刻調整・時刻確認時に使います。

各部の名称とはたらき

ワイヤードリモコン

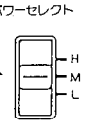
リモコン表示部

図は説明のためすべてを表示させた状態にしてあります。
実際は該当部のみ表示します。

- ボタンを操作して、リモコンから信号が送られるときに表示します。
- 冷暖切替つまみが自動運転の位置にあるとき表示します。
- 運転コースの暖房、ドライ、冷房のいずれかを表示します。
- ドライ運転時、アメニティドライ・パワフルドライのいずれかを表示します。(☞24、32ページ)
- リモコンのまわりの温度を1分ごとに検知して表示します。
- 設定温度を表示します。(設定範囲16～30℃)
- ▲は設定温度の上限を示し、▼は設定温度の下限を示します。
- 時刻表示をします。
- 高温風/急冷運転時に表示します。
- さわやかセーブ運転時に表示します。
- 入タイマーボタンを押すと「入タイマー」が表示します。もう一度押すと表示が消えます。切タイマーボタンを押すと「切タイマー」が表示します。もう一度押すと表示が消えます。(☞25～27ページ)
- 平日/休日切替ボタンを押すと、平日・休日を交互に表示します。
- 風量切替ボタンを1回押すごとに「強」「中」「弱」「自動」のいずれかを表示します。
- フラップの位置を表示します。(☞30ページ)
- ボタン操作しても受け付けない機能のときに表示します。

パワーセレクトの働きについて…

- メインブレーカ(家全体)の電気容量に余裕がない場合、パワーセレクトをM又はLに設定することにより、エアコンの使用電気量を低くおさえて他の電気製品との同時使用をできるようにします。
- 但し設定をM又はLにすると エアコンの最大能力は小さくなります。
(室外ユニットがインバータタイプの場合のみ効果が有ります。)



お使いになる前に

ワイヤードリモコン

エアコンを使い始める前に、次の準備を行います。

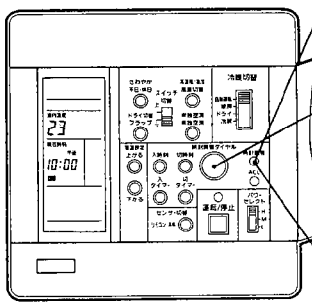
初めてお使いになるときは

電源を入れます。
- 本体操作部のセレクトスイッチを運転にします。

現在時刻の合わせかた

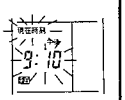
はじめてお使いになるときなどは現在時刻を合わせます。
現在時刻を合わせなくても、通常の運転はできますが、正しいタイマー運転のセットはできません。

(例) 午後9時10分の合わせかた



1 時計ボタンを押します。
時刻が点滅します。

2 時刻調整ダイヤルを押し、とび出させます。その後、回して午後「9：10」に合わせます。
時刻は1分単位で設定できます。
その後、押してひっこめます。



3 時計ボタンをもう一度押します。
時刻セット完了です。

合わせなおすとき
もう一度手順1から操作しなおします。

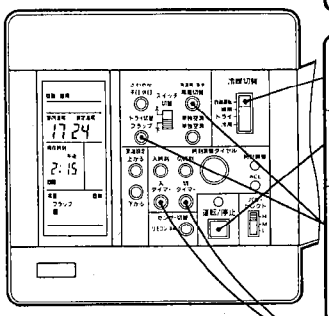
リモコン取り扱い上のご注意
- リモコンを直接日光に当てたり、ストーブなどを近くに置かないでください。

操作のしかた　自動運転のしかた

ワイヤードリモコン

運転操作を簡単に
すませたいときに
お使いください。

- 電源(ブレーカー)が入になっていることを確認します。
- セレクトスイッチが運転の位置にあることを確認します。



1 冷暖切替つまみを「自動運転」にします。

2 運転/停止ボタンを押します。

3 スイッチ切替つまみを下の位置にします。
風量切替ボタンを押して
自動、強、中、弱のいずれかにします。
自動にすると風量は室内温度と設定温度の差に応じて自動的に切り替わります。

4 「入タイマー」または「切タイマー」の表示がある場合は
入タイマーボタンまたは
切タイマーボタンを押して
表示を消してください。

停止 運転/停止ボタンを
もう一度押します。

自動運転時の設定内容

- 運転開始時の室内温度によって運転コースと設定温度は自動的につぎのようになります。

運転開始時の室温	運転コース	設定温度
30℃以上	冷房	27℃
28～29℃		26℃
26～27℃		25℃
18～25℃	アメニティドライ	24℃
17℃以下	暖房	

温度設定を変えるとき

プログラムの設定温度をお好みに応じて±2℃の範囲で変更し、記憶させることができます。自動運転中に室温設定ボタンを押して変更してください。

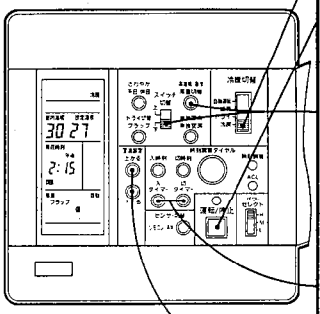
- 停止後2時間以内に再度運転した場合は、停止前と同じ運転内容になります。

操作のしかた　手動運転のしかた

ワイヤードリモコン

自動運転をせずに、お好みの運転をしたいときは、つぎの方法で運転します。
暖房運転・冷房運転・ドライ運転（運転条件35ページ）

- 電源(ブレーカー)が入になっていることを確認します。
- セレクトスイッチが運転の位置にあることを確認します。



1 冷暖切替つまみを「暖房」「冷房」「ドライ」のいずれかにします。

2 運転/停止ボタンを押します。

3 スイッチ切替つまみを下の位置にします。
風量切替ボタンを押して
自動、強、中、弱のいずれかにします。
自動にすると風量は室内温度と設定温度の差に応じて自動的に切り替わります。

4 「入タイマー」または「切タイマー」の表示がある場合は
入タイマーボタンまたは
切タイマーボタンを押して
表示を消してください。

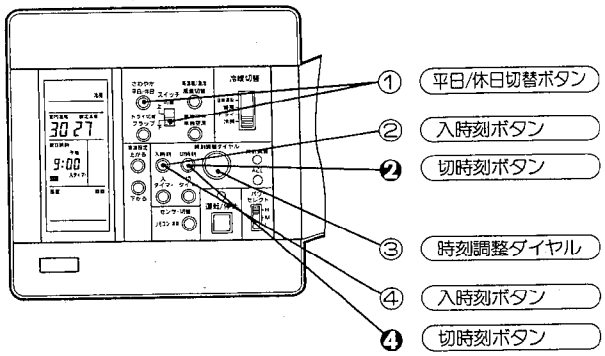
5 室温設定ボタンを押し、
お好みの温度にします。
ボタンを1回押すごとに1℃ずつ設定温度が変化します。
16～30℃の範囲で設定できます。

停止 運転/停止ボタンを
押します。

操作のしかた　タイマー運転のしかた

ワイヤードリモコン

- タイマー運転するときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認します。
- 平日と休日の入時刻は別々に合わせられます。手順2の①～④で設定してください。
一度セットすると、その内容が記憶されますので、つぎからは、平日、休日を選択して入(切)タイマーボタンを押す（「入タイマー」「切タイマー」が表示）だけで同じ運転ができます。



- 出荷時、入時刻は平日のとき、午前6：00、休日のとき午前8：00に設定されています。
切時刻は平日のとき、午前0：00、休日のとき午前1：00に設定されています。

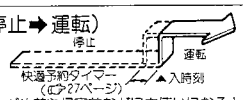
機器コード							情報番号	通し番号	訂正番号
0	9	1	4	1	3	5	1	3	0	8	1

操作のしかた　タイマー運転のしかた

ワイヤードリモコン

入タイマー運転のしかた

（停止➡運転）



おめざめ前や帰宅前などにお使いになると便利です。

1 あらかじめお好みの運転をします。
（☞23、24ページ）

2 入時刻を合わせます。
（例）平日の午前7時10分に運転させたいとき
① スイッチ切替つまみを下の位置にし、
平日/休日切替ボタン
を押して平日にします。
②入時刻ボタンを
押します。
「入タイマー」が点滅します。

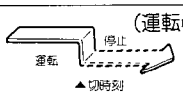
③時刻調整ダイヤルを押し、
とび出させます。その後回して午前「7:10」に合わせます。
時刻は10分単位で設定できます。
その後、押してひっこめます。

④入時刻ボタンを
押します。
「入タイマー」が消えます。
現在時刻表示にもどります。

3 入タイマーボタンを押し
入タイマー表示させます。
いったん運転が停止し、入タイマー運転に入ります。

切タイマー運転のしかた

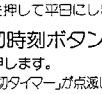
（運転➡停止）



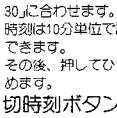
おやすみのときなどにお使いになると便利です。

1 あらかじめお好みの運転をします。
（☞23、24ページ）

2 切時刻を合わせます。
（例）平日の午後11時30分に運転を停止させたいとき
① スイッチ切替つまみを下の位置にし、
平日/休日切替ボタン
を押して平日にします。
❷切時刻ボタンを
押します。
「切タイマー」が点滅します。



③時刻調整ダイヤルを押し、
とび出させます。その後、回して午後「11:30」に合わせます。
時刻は10分単位で設定できます。
その後、押してひっこめます。



❹切時刻ボタンを
押します。
「切タイマー」が消えます。
現在時刻表示にもどります。

3 切タイマーボタンを押し、
切タイマー表示させます。

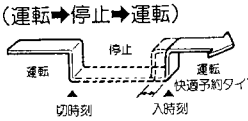
操作のしかた　タイマー運転のしかた

ワイヤードリモコン

プログラムタイマー運転のしかた

例1

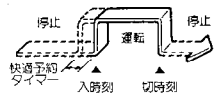
（運転➡停止➡運転）



おやすみ中に停止させ、おめざめ前に再運転したいとき便利です。

例2

（停止➡運転➡停止）



おめざめ前に運転させ、おでかけのときに運転を停止させたいとき便利です。

1 あらかじめお好みの運転をします。
（☞23、24ページ）

2 切時刻を合わせます。
入時刻を合わせます。
（25、26ページの方法でセットしてください。）

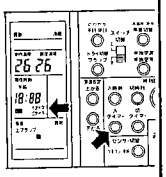
- 切タイマー・入タイマーの組合せ運転になります。
- 切タイマーと入タイマーを同じ時刻に合わせた場合、切タイマー運転になります。

3 入タイマーボタンを押し、入タイマー表示を点灯させます。
切タイマーボタンを押し、切タイマー表示を点灯させます。

例2 の場合はいったん運転が停止します。

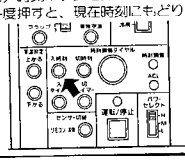
タイマー運転を取り消したいとき

- 入タイマー表示がある場合は入タイマーボタンを押し、入タイマー表示を消します。
- 切タイマー表示がある場合は切タイマーボタンを押し、切タイマー表示を消します。
- 入時刻、切時刻は記憶しています。



入切時刻を確認したいとき

入（切）時刻ボタンを押します。
もう一度押すと、現在時刻にもどります。



入切時刻を変更したいとき

入（切）タイマー運転のしかた、手順2の①②③④にしたがって行ってください。
（☞26ページ）

快適予約タイマー機能について

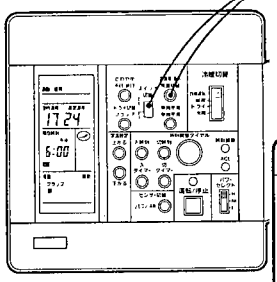
- 入タイマー運転は、セットされた時間にお部屋の温度がお好みの温度に近づけるよう、セット時間の0～60分前から運転を開始します。
- お部屋の大きさや状態により、セット時間にお好みの温度になっていないことがあります。

操作のしかた

ワイヤードリモコン

高温風 / 急冷運転のしかた

暑い夏のお買い物帰りやお風呂あがりに、また冬の帰宅時などに使用します。



運転 スイッチ切替つまみを上の位置にします。
自動・暖房・冷房運転中に
高温風/急冷ボタンを押します。
- リモコンに表示が点灯します。

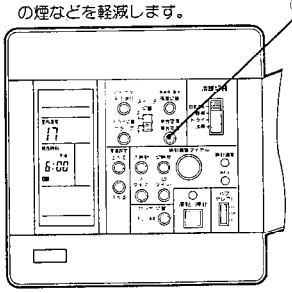
取り消し スイッチ切替つまみが上の位置にあることを確認し、もう一度
高温風/急冷ボタンを押します。
- リモコンの表示が消え、もとの運転にもどります。

高温風 / 急冷運転のしくみ

- 暖房時、高温風 / 急冷ボタンを押してから21分間高温風運転をします。
- 冷房時、高温風 / 急冷ボタンを押してから21分間強風の冷房運転をします。

単独空清（空気清浄）運転のしかた

単独空清(空気清浄機能)は空気中の煙、チリ、ホコリや、においを取り、タバコの煙などを軽減します。



運転 エアコン停止中に
単独空清ボタンを押します。
- 室内ユニットの単独空清ランプが点灯します。

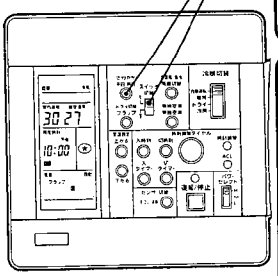
取り消し もう一度
単独空清ボタンを押します。
- 室内ユニットの単独空清ランプが消灯します。

機器コード						情報番号		通番		型式番号
0	9	1	4	1	35	1	3	0	9	1

操作のしかた　さわやかセーブ運転のしかた

ワイヤードリモコン

自動的に設定温度や風量を調節して、寝苦しさをやわらげます。



運転 スイッチ切替つまみを上の位置にします。
自動・暖房・ドライ・冷房運転中に
さわやかボタンを押します。
- リモコンの表示が点灯します。

取り消し スイッチ切替つまみが上の位置にあることを確認し、もう一度
さわやかボタンを押します。
- リモコンの表示が消え、もとの運転にもどります。

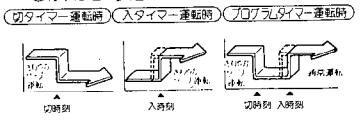
さわやかセーブ運転のしくみ

- 室内ユニットの風量を自動的に下げ、静かな運転を行います。
- 室内温度が設定温度に達した後、30分たちますと設定温度をつぎのように自動的に変更し、冷え過ぎや暖め過ぎのない経済運転を行います。

冷房、ドライ時	1℃高め(17～31℃の範囲で表示します。)
暖房時	4℃低め(12～29℃の範囲で表示します。)

- さわやかセーブ運転とタイマー運転を併用した場合

切タイマー運転時　入タイマー運転時　プログラムタイマー運転時



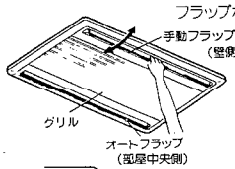
ご注意

- 冷房 運転中に室内湿度が設定温度に達したときは、室内ファンが停止します。
- 暖房運転中に室内湿度が設定温度に達したときは、室内ファンは微風になります。

操作のしかた　風向調節のしかた

オートフラップ(手動フラップ)の風向調節

ワイヤレスリモコン……運転中にフラップボタンを押して調節します。
ワイヤードリモコン……スイッチ切替つまみを下の位置にし、運転中にフラップボタンを押して調節します。
フラップボタンを押すごとに、風向がつぎのように変わります。



暖房時

暖房運転時おすすめ範囲

1 2 3 4 5 6 初期設定 スイング

冷房時・ドライ時

冷房・ドライ運転時おすすめ範囲

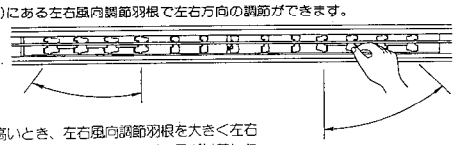
1 2 3 4 5 6 初期設定 スイング

ご注意

- オートフラップは、必ずリモコンのフラップボタンで操作してください。
手で直接操作されますと誤動作する場合があります。
誤動作した場合は、リモコンで一度運転してから停止を行うと正常の位置に戻ります。
- 暖房運転開始時、オートフラップは、風の温度が低いとき6の位置で運転し、風の温度が高くなったらリモコンで設定された位置で運転します。

左右の風向調節

吹出口(手動フラップ側)にある左右風向調節羽根で左右方向の調節ができます。



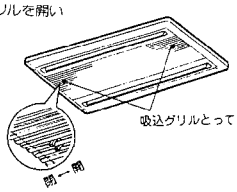
ご注意

- つゆどきなど湿度の高いとき、左右風向調節羽根を大きく左右に曲げて冷房ドライ運転しますと、吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。その場合はまっすぐな位置でご使用ください。
- 手動フラップ側の吹出口の左右風向調節羽根は、中央部が固定されていますのでそれ以外の羽根で調節してください。

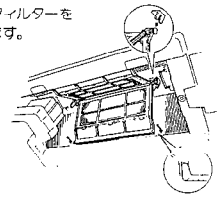
空気中のチリやホコリを取り除き、たばこの煙などを軽減します。
別売の空気清浄フィルター（STK-SNFF-21）をお買い求めのうえ、交換してください。

空気清浄フィルター交換のしかた

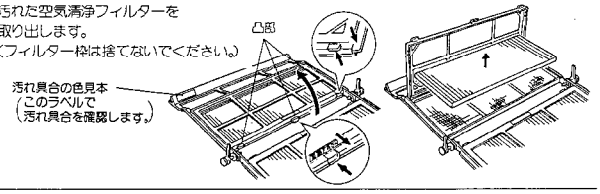
1 吸込グリルを開いきます。



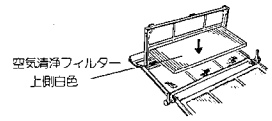
空気清浄フィルターを取り出します。



2 フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出します。
（フィルター枠は捨てないでください。）



3 新しい空気清浄フィルターをセットします。



4 空気清浄フィルターを手順１の逆の手順で本体に取り付けます。
吸込グリルを閉じます。

ご注意

- 空気清浄フィルターは本体に貼ってある色見本のラベルと同じ程度の色になるまで使用できます。（一般のご家庭では３～６カ月がめやすです。）
- 汚れた空気清浄フィルターは、洗っても再使用できません。お買い上げの販売店でご購入ください。

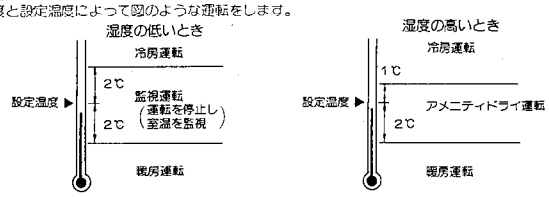
アメニティドライ・パワフルドライについて

- 冷暖切替つまみをドライの位置にし、運転すると室温を変えずに湿気だけをとるドライ運転ができます。リモコン表示部には「アメニティドライ」または「パワフルドライ」の表示があらわれます。リモコンのドライ切替ボタンで切り替えられます。

ご注意 冷暖切替つまみを自動の位置にしドライ運転になった場合、アメニティドライだけの運転になります。

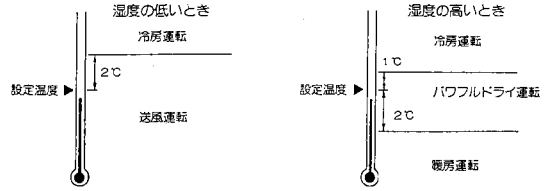
アメニティドライ運転の動作について

- 湿度が約60%になるように除湿します。（お部屋の状態によっては、湿度が60%にならないことがあります。）
- お好みの温度をキープして、快適湿度を保ちますので、つゆどき、秋の長雨時にご使用になると効果的です。
- 湿度と設定温度によって図のような運転をします。



パワフルドライ運転の動作について

- 湿度が約45%になるように除湿します。（お部屋の状態によっては、湿度が45%にならないことがあります。）
- 洗濯物の乾燥や、ダニ、カビの繁殖を抑えるのに役立ちます。
- 湿度と設定温度によって図のような運転をします。

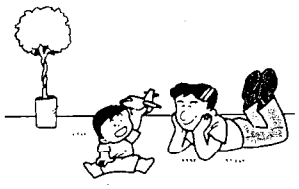


冷風防止運転について

暖房時、エアコンを運転してすぐに送風を開始すると、冷風が出て、はだ寒さを感じることがあります。そこで冷風が出ないように、エアコン内部が暖まるまで送風を停止しています。エアコン内部が暖まれば自動的に温風が出てきます。

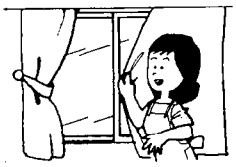
使用上のご注意

室内温度は適温に



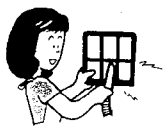
暖めすぎ、冷やしすぎは健康上よくありません。また電気のムダ使いにもなります。

窓にはカーテンやブラインドを



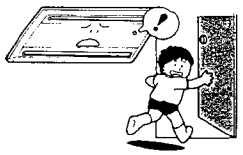
冷房時、直射日光の当たる窓にはカーテンをひくか、ブラインドをおろしてください。

エアフィルターの掃除はこまめに



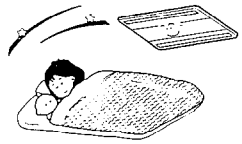
エアフィルターの目づまりは運転効果が悪くなります。２週間に１度を目やすに掃除してください。

窓や戸の開閉は少なめに



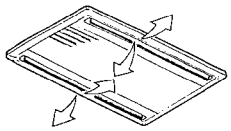
冷房時は外気が入りこみ冷房効果が悪くなります。暖房時は暖気が室外へ逃げ暖房効果が悪くなります。

タイマーや、さわやかセーブ運転を有効に



タイマー運転で必要な時間だけ運転するようにしましょう。
また、さわやかセーブ運転で暖めすぎ、冷やしすぎを防止しましょう。

風向調節を上手に



室温のムラが少なくなるように、上下・左右方向の風向きを調節してください。

注意していただきたいこと

使用電源について	・銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。
やけどの注意	・温風の直接あたる場所でおやすみにならないでください。特にお子様やお年寄り、病気の方にはご注意ください（低温風でも、連続的にあたりますと、低温やけどのおそれがあります。）
吹出口、吸込口についての注意	・吹出口や吸込口をふさぐと、過熱し、火災や故障の原因になります。また、紙や布、異物を入れるとたいへん危険です。
転居・移設されるとき	・転居、移転される場合は、調整や工事が必要です。必ずお買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください（費用は有料となります。）。 ・お客様自身で行いますと、ガス（冷媒）や温水が噴出したり、配管および配管接続部が破損して故障の原因になります。
冷房運転時の注意	・窓や扉、または隣接する部屋の仕切りを開け放しにしたり、台所や洗面所など湿度の高いところで長時間使用されますと、エアコン内に露を生じて落ちることがあります。

こんなときには

停止時の注意	・停止は必ず運転／停止ボタンで行ってください。
冷房・ドライ運転時の注意	・冷房用室外ユニットにカバーがしてある場合は、取りはずしてからお使いください。 ・室温が20℃以下のときは、冷房運転をしないでください。冷房用熱交換器に霜がついたり機器の寿命を縮める原因になります。
雷時の注意	・激しい雷によって、一時的な過電流が流れて電子部品を損傷することがあります。運転を停止し、ブレーカーを切りますと損傷を防止できます。
停電時の注意	・停電のときは使用できません。 ・ご使用中、万一停電したり、誤って電源（ブレーカー）を切ってしまったときは、通電後にもう一度運転操作をしてください。また、ワイヤードリモコンの場合、設定内容が初めてお使いのときの状態になります。
異常時の注意	・ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。スイッチの動作が不確実なときなど、異常と思われるときは39ページの「故障かな？と思ったら」をご確認ください。 ・なお異常のあるときは、お買い上げの販売店、またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
0	9	1	4	1	3	5	1	3	1	0	1

使用上のご注意

テレビ・ラジオなどを使用するときの注意	・テレビ・ステレオ・ラジオなどを近くで使用すると、映像が乱れたり雑音が入ったりすることがあります。1 m以上離してお使いください。
他の燃焼器具を使用するときの注意	・ときどき換気して室内の空気を入れ換えてください。
室温調節の注意	・特に身体のご不自由な方たや、お子様、お年寄りなどがお使いの場合は、周囲の方たが常に注意して快適な室温に調節してください。
使用場所の注意	・理・美容室や塗装・メッキ工場、コピー機械のある事務所など、スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。
冷房用室外機吹出口の注意	・温風が出ますので、冷房用室外ユニットのそばに動植物は置かないでください。

■運転条件

エアコンを正しく使っていただくために、つぎの条件で運転してください。
この条件以外の温度で長時間運転されますと保護装置がはたらき、運転ができないことがあります。

冷房運転	室外温度…約21℃以上　43℃以下 室内温度…約21℃以上　32℃以下 室内湿度…約80%以下 つゆどきなど湿度の高いとき長時間運転するとエアコンの表面に露がつき、滴下することがあります。
ドライ運転	室外温度…約15℃以上　43℃以下 室内温度…約15℃以上　32℃以下 室内湿度…約80%以下 つゆどきなど湿度の高いとき長時間運転するとエアコンの表面に露がつき、滴下することがあります。

設置について

凍結防止運転について

●冬期エアコン停止中でも電源(ブレーカー)を切らないようにしてください。
冬期外気温が0℃以下になりますと熱交換器や温水回路、暖房用熱源機の熱交換器の水が凍結し、熱交換器や配管などが破損することがあります。室内温度が約10℃以下になるとエアコンの停止中は流量可変弁を開いて水を循環させ、温水回路などの破損を防止することができます。しかしエアコン停止中他の暖房装置を使った場合には、外気温が0℃以下であっても室内温度が10℃を越えていると、流量可変弁は開きません。このため水が循環せず凍結防止を行うことができませんので他の暖房装置を使う場合にはエアコンを暖房運転してください。

据付場所について

●可燃性ガスの漏れるおそれのあるところには据え付けないでください。

●工場、海浜地区、温泉地帯など特殊なところでご使用になりますと、腐食などにより故障の原因になることがあります。

●除湿水の処理がしやすく、隣家などに迷惑のかからないところに据え付けてください。

●高温になるものをエアコンの近くに置かないでください。

●エアコンをご使用中に異常音のする場合などは、お買いあげの販売店にご相談ください。

騒音にもご配慮を

●据え付けにあたっては、エアコンの重量にじゅうぶん耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。

●エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

●エアコンの室外吹出口の近くに物を置きますと、能力低下や騒音増大のもとになりますので吹出口付近には障害物を置かないでください。

電気配線について

●電源は専用回路をご使用ください。
他の電気製品と共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

●万一の感電事故防止のためアースを取り付けてください。
アース線はアース用ネジに取り付けてください。

●つぎのようなところにはアース線を接続しないでください。

水道管
プラスチック部分がありアースの役目をしません。

ガス管
ガス漏れ等の原因となり危険です。

電話線のアース、避雷針
落雷のとき大きな電流が流れて危険です。

●漏電しゃ断器について
据付場所によっては感電防止のため、漏電しゃ断器の取り付けが法規によって義務づけられています。

●正しいアンペアのヒューズをご使用ください。
ヒューズのかわりに針金、銅線などを使用しないでください。故障や、火災の原因になります。

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

点検のポイント

次のチェックポイントで、点検してください。

●機器の外観に異常は見られませんか？
●電源コードがいたんでいませんか？

注意　機器の分解は絶対にしないでください。

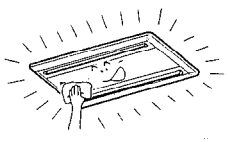
お手入れのしかた

安全のために必ず運転を停止し、電源(ブレーカー)を切ってから行います。

室内ユニットのお手入れ

◆本体・リモコン

●やわらかい布でからぶきします。
●本体の汚れがひどい場合は、40℃以下の水で汚れをふきとります（リモコンは水を使わず、からぶきをします。）



ご注意
●ベンジン、シンナー、クレンザーなどは変形したり割れたりすることがありますのでお使いにならないでください。

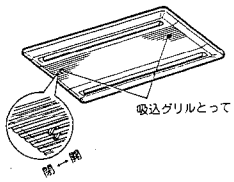
日常の点検とお手入れ

エアフィルターのお手入れ

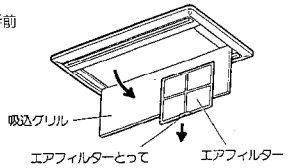
●約2週間に一度掃除してください。

1 エアフィルターをはずします。

●吸込グリルのとってを内側に押すと吸込グリルが下に開きます。



●エアフィルターのとってを持ち上げてから手前に引くとエアフィルターがはずれます。



2 掃除します。

●ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。(空気清浄フィルターは水洗いしないでください。)

3 エアフィルターをもとどおり取り付けます。

機器コード							機番	種別	通番	号	訂正番号
0	9	1	4	1	3	5	1	3	1	1	1

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理に出す前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください

現象	点検項目
運転しないとき	●停電ではありませんか。 ●セレクトスイッチが全停止になっていませんか。（3ページ） ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●ワイヤレスリモコンの電池が切れていませんか。（8ページ） ●タイマーがセットされていませんか。（15～17および25～27ページ）
よく冷えない よく暖まらないとき	●室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。（冷房時） ●エアフィルターにホコリやゴミがつまっていませんか。（38ページ） ●フラップは適正な位置になっていますか。（30ページ） ●風量切替つまみは弱（弱風）になっていませんか。 ●設定温度が適正ですか。 ●ワイヤレスリモコンの置き場所は適正ですか。 （リモコンに直接、冷風、温風が当たっていませんか。）（10ページ） ●ドアや窓が開いていませんか。

こんなときは故障ではありません

	現象	原因と対策
冷房時	運転を開始するときや、室温調節器が作動し、運転を再開したとき「シュー」と音がする。	冷房に使用するガス（冷媒）が流れ始めた音で異常ではありません。
冷房時	冷風吹出口から霧を吹き出す。	室内の温度条件によって起こることがありますが異常ではありません。
冷房時	冷風吹出口の回りに水（ドレン）が付く。	使用条件によって冷風吹出口の回りに水滴が付く場合がありますので、ぞうきんなどでふき取ってください。
冷房時	運転停止後すぐに運転しようとしても運転しない。	室外ユニットに3分間保護タイマーが付いています。約3分間は運転しません。
冷房時	においが出る。	・空気中に含まれたタバコの煙、化粧品、食品などのにおいが機器に付着し、それが吹きだすためです。しばらく換気しながら使用してください。
冷房時	水を吸い込むような音がする。	ドレンポンプが作動しているときに水を吸い込むような音がすることがあります。これは内部の水が流れる音で、機械の故障ではありません。なお、ドレンポンプはエアコン停止後も運転する場合があります。
	受信がない。 ワイヤレスリモコンの運転／停止ボタンを押してもエアコンから受信音がない。	・ワイヤレスリモコン送信部が本体受信部に向けられていなかったのではありませんか。 ・ワイヤレスリモコン送信部を本体受信部に向けて2回続けて、運転／停止ボタンを押してください。

現象	原因と対策
暖房運転を開始または停止した時に「ジジジ…」と音がする。（約30秒間）	流量可変弁が開くまたは閉じる音ですので異常ではありません。
電源を入れたときに「ジジジ…」と音がする。（約30秒間）	流量可変弁が位置出しするために閉じる音ですので異常ではありません。
エアコン停止中に「ジュー」と音がする。	温水管の凍結を防止するために保護装置が働き自動的に水を流すためですので異常ではありません。
暖房運転の開始や停止時にキシミ音がする。	熱交換器が温度変化で膨張、収縮するためですので異常ではありません。

●以上の方法で点検し、なお、異常のあるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

つぎのような場合は、ドレン排水が正常に行われていませんので電源（ブレーカー）は入れたままで、お買いあげの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

運転	運転ランプが点滅（約3秒間隔）し冷風が出ないとき。

つぎのような場合は直ちに運転を中止し電源（ブレーカー）を切ってお買いあげの販売店へご連絡ください。（暖房でご使用の場合はガス元せんを「閉」にしてください。）

入 切	ブレーカやヒューズがたびたび切れるとき。		誤まって異物や水を入れてしまったとき。

ワイヤレスリモコンが故障したときは

ワイヤレスリモコンが故障したり、また紛失、電池の消耗などにより、一時的にリモコンをご使用できなくなったときには応急的な運転ができます（くわしくは19ページ「応急運転のしかた」をごらんください）。

※お調べになっても、なお異常のあるときや、よくわからないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●まず39～40ページの「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけのときは、つぎのことをお知らせください。
(1) お名前・ご住所・電話番号・道順（付近の目印なども）
(2) 品名…… DC-22CEB-AT　室内ユニット
(例)　DCS-22SH-I　室外ユニット
(3) 現象（表示ランプの状態など、できるだけ詳しく）
(4) 訪問希望日

保証について

●この商品は保証書を別途添付しております。保証書はお買い求めの販売店でお渡しいたします。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後大切に保存してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品（機能維持のため必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後10年です。

転居または機器を移設される場合

●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますのでお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、機器（室外ユニット）の重量に十分耐える場所で、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
また、室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料です。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにお問い合わせください。

長期間使用しない場合

暖房シーズンと冷房シーズンの間など長期間使用しない場合、次のような点検・手入れを行ってください。くわしい点検・手入れについては37、38ページをごらんください。故障箇所がある場合には、次のシーズンにすぐ使えるように修理をすませておきましょう。

暖房シーズンが終ったら

1. エアフィルターを掃除し、十分乾かしてからもとどおりに取り付けてください。
2. リモコンの電池を抜いてください。（ワイヤレスリモコン）

冷房シーズンが終ったら

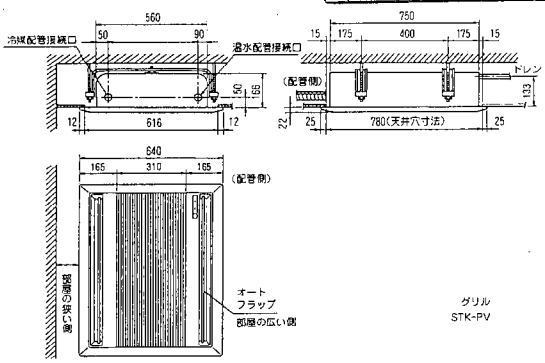
1. 半日ほど送風運転して内部をよく乾燥してください。
2. エアフィルターを掃除し、十分乾かしてからもとどおり取り付けてください。
3. リモコンの電池を抜いてください。（ワイヤレスリモコン）

機器コード						機番	製造番号	通し番号	訂正番号
09	1	4	1	3	5	1	3	1	2	1

仕様・寸法図

■室内ユニット　DC-22CEB-AT型
DC-35CEB-ATK型

機器コード							標番号		通し番号	訂正番号
0	9	1	4	1	3	5	1	3	1	1



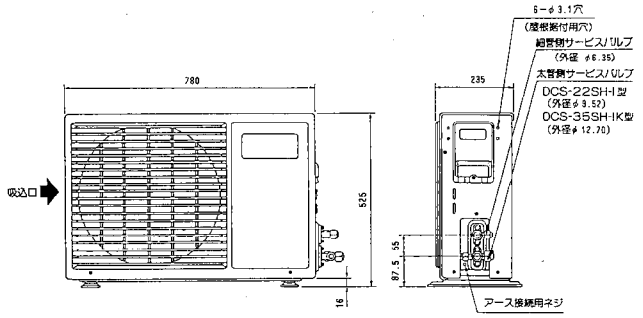
グリル
STK-PV

仕　様

型式			DC-22CEB-AT	DC-35CEB-ATK
種類			暖房・冷房兼用・セパレートタイプ	
電源			単相100V　50Hz	単相200V　50Hz
暖房	能力	kcal/h	3,000(900～3,000)	3,700(1,200～3,700)
	運転電流	A	0.45	0.33
	消費電力	W	35	50
	騒音	dB	38	42
	標準適室	畳	8～12	10～15
冷房	能力	kW	2.5〈2.2〉	4.0〈3.6〉
	運転電流	A	0.95	0.55
	消費電力	W	75	90
	除湿量	ℓ/h	1.4	2.0
	騒音	dB	39	43
	標準適室	畳	7～10〈6～9〉	11～17〈10～15〉
	風量	m³/min	6.7	9.8
製品質量		kg	(本体)18、(グリル)3	
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	(本体) 高さ 幅 奥行 160×750×560　(グリル) 高さ 幅 奥行 22×830×640	
電熱装置		W	40(露付防止ヒーター)	
付属品			取扱説明書(1)、保証書(1)	

〈 〉内の数値は定速室外ユニットの場合を示します。

■冷房用室外ユニット　DCS-22SH-I型
(インバータタイプ)　DCS-35SH-IK型

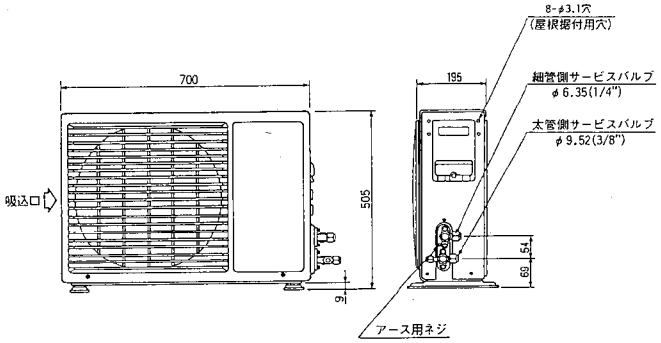


仕　様

型式			DCS-22SH-I	DCS-35SH-IK
種類			冷房専用、セパレートタイプ	
電気特性	電源		単相100V　50Hz	単相200V　50Hz
	運転電流	A	8.9	7.3
	消費電力	W	810	1,420
騒音		dB	42	47
製品質量		kg	31	32
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	高さ 幅 奥行 525 × 780 × 235	
付属品			アース棒(1)	

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット　DCS-22SH型

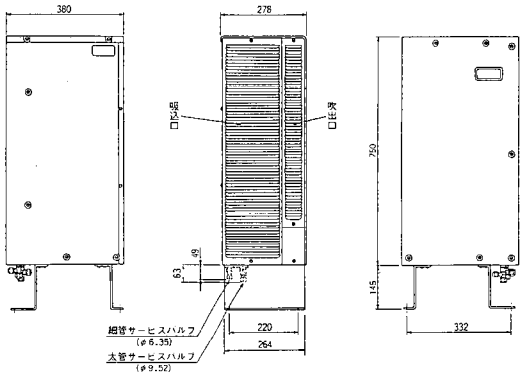


仕　様

型式			DCS-22SH
種類			冷房専用、セパレートタイプ
電気特性	電源		単相100V　50Hz
	運転電流	A	6.7
	消費電力	W	630
騒音		dB	43
製品質量		kg	24
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	高さ 幅 奥行 505 × 700 × 195
付属品			—

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット　DCS-22SB-T型



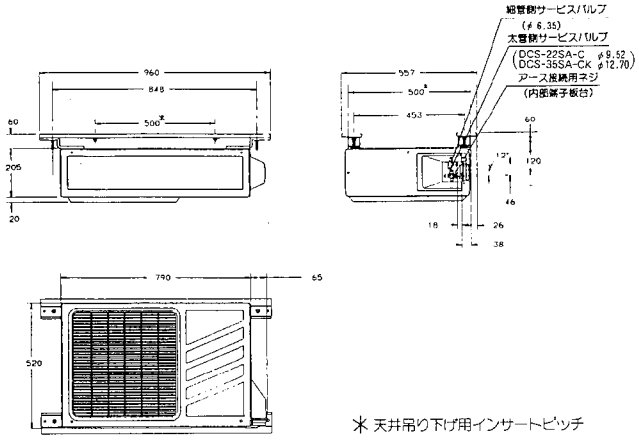
仕　様

型式			DCS-22SB-T
種類			冷房専用、セパレートタイプ
電気特性	電源		単相100V　50Hz
	運転電流	A	7.9
	消費電力	W	720
騒音		dB	51
製品質量		kg	32
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	高さ 幅 奥行 750+145 (脚) × 278 × 380
付属品			—

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット　DCS-22SA-C型
DCS-35SA-CK型

機器コード						増設番号	通し番号	訂正番号
0	9	1	4	1	35	1	1	1



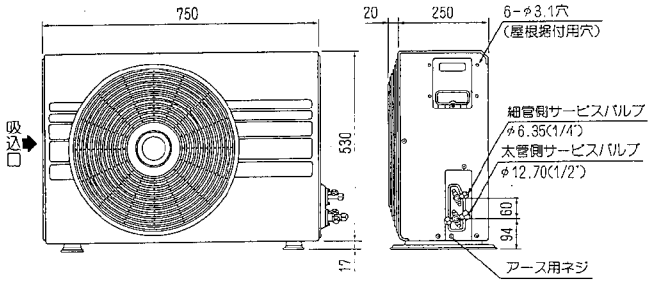
＊天井吊り下げ用インサートピッチ

仕　様

型式		DCS-22SA-C	DCS-35SA-CK
種類		冷房専用、セパレートタイプ	
電気特性	電源	単相 100V　50Hz	単相 200V　50Hz
	運転電流 A	7.1	7.6
	消費電力 W	640	1,370
騒音	dB	46	50
製品質量	kg	35	42
外形寸法 高さ×幅×奥行	mm	高さ　幅　奥行 205＋20(吹出口)×790＋65(バルブカバー)×520	
付属品		—	

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット　DCS-35SH-K型

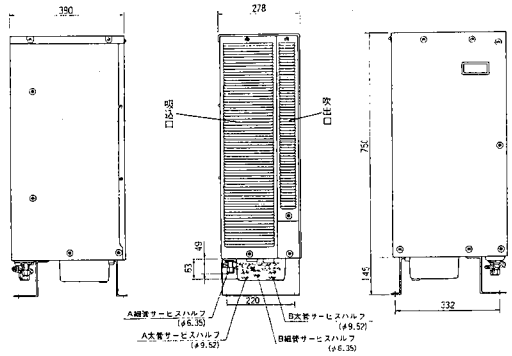


仕　様

型式		DCS-35SH-K
種類		冷房専用、セパレートタイプ
電気特性	電源	単相 200V　50Hz
	運転電流 A	6.4
	消費電力 W	1,210
騒音	dB	47
製品質量	kg	36
外形寸法 高さ×幅×奥行	mm	高さ　幅　奥行 530×750×250＋20(吹出口)
付属品		—

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット(2室マルチ型) DCS-282B-3T型

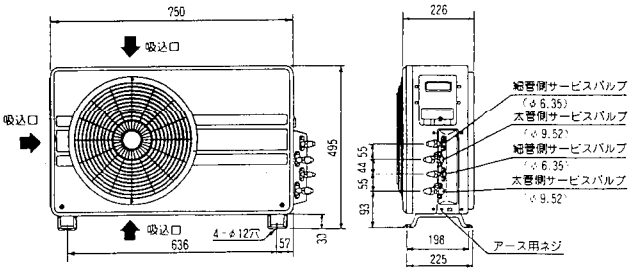


仕　様

型式		DCS-2823-3T
種類		冷房専用、セパレートタイプ
電源		単相100V　50Hz
組合わせ室内ユニット		2.5クラス
1台運転	冷房能力 kW	2.2
	運転電流 A	9.1
	消費電力 W	830
2台運転	冷房能力 kW	1.4×2
	運転電流 A	9.7
	消費電力 W	880
騒音	dB	52
製品質量	kg	35
外形寸法 高さ×幅×奥行	mm	高さ　幅　奥行 750＋145(脚)×278×380
付属品		—

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット(2室マルチ型)　DCS-282F-2型

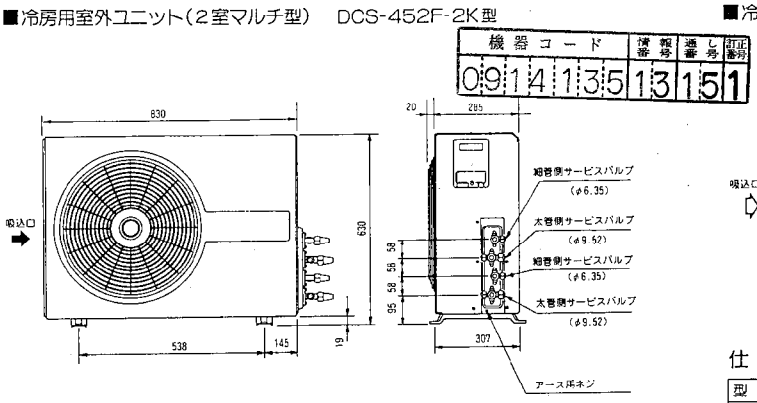


仕　様

型式		DCS-282F-2
種類		冷房専用、セパレートタイプ
電源		単相100V　50Hz
組合わせ室内ユニット		2.5クラス
1台運転	冷房能力 kW	2.2
	運転電流 A	7.8
	消費電力 W	730
2台運転	冷房能力 kW	1.4×2
	運転電流 A	8.2
	消費電力 W	770
騒音	dB	44
製品質量	kg	35
外形寸法 高さ×幅×奥行	mm	高さ　幅　奥行 495×750×226＋20(吹出口)
付属品		—

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット（2室マルチ型） DCS-452F-2K型

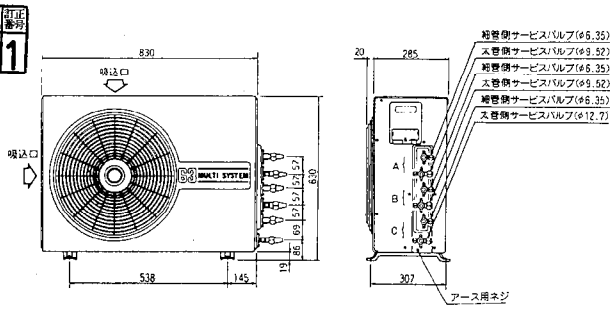


仕 様

型式			DCS-452F-2K
種類			冷房専用、セパレートタイプ
電源			単相200V 50Hz
組合わせ室内ユニット			2.5クラス
1台運転	冷房能力	kW	2.2
	運転電流	A	3.4
	消費電力	W	645
2台運転	冷房能力	kW	2.2×2
	運転電流	A	6.8
	消費電力	W	1,290
騒音		dB	49
製品質量		kg	59
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	高さ 幅 奥行 630 × 830 × 285+20(吹出口)
付属品			—

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット（3室マルチ型） DCS-633F-3K型

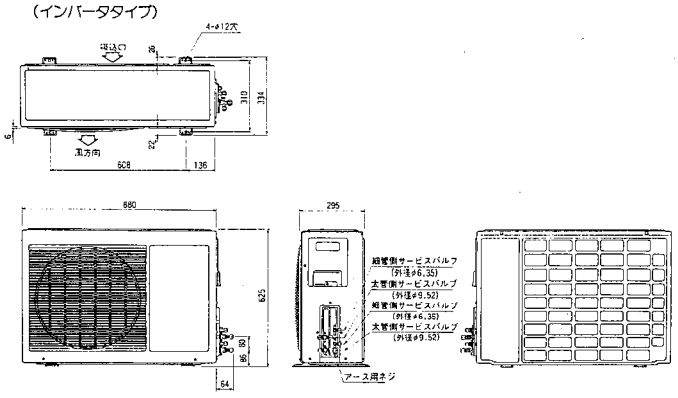


仕 様

型式			DCS-633F-3K	
種類			冷房専用、セパレートタイプ	
電源			単相200V 50Hz	
1台運転	組合わせ室内ユニット		2.5クラス	4.0クラス
	冷房能力	kW	2.2	3.6
	運転電流	A	4.3	6.7
	消費電力	W	810	1,220
2台運転	組合わせ室内ユニット		2.5+2.5クラス	2.5+4.0クラス
	冷房能力	kW	1.4×2	2.5+4.0
	運転電流	A	4.3	11.3
	消費電力	W	810	2,050
3台運転	組合わせ室内ユニット		2.5+2.5+4.0クラス	
	冷房能力	kW	1.4×2+3.6	
	運転電流	A	11.4	
	消費電力	W	2,080	
騒音		dB	52	
製品質量		kg	55	
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	高さ 幅 奥行 630 × 830 × 285+20(吹出口)	
付属品			—	

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット（2室マルチ型） DCS-482H-2IK型
（インバータタイプ）

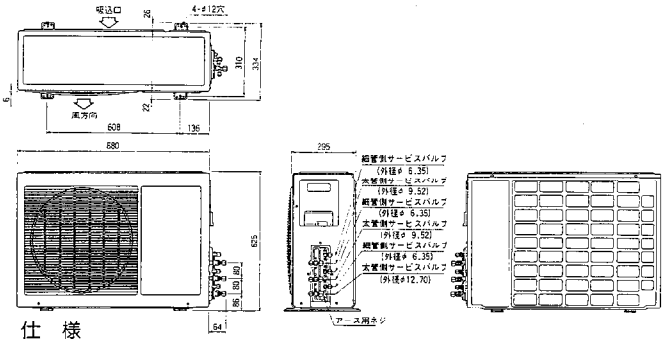


仕 様

型式			DCS-482H-2IK
種類			冷房専用、セパレートタイプ
電源			単相200V 50Hz
組合わせ室内ユニット			2.5クラス
1台運転	冷房能力	kW	2.5(1.4~2.7)
	運転電流	A	4.9(2.6~5.4)
	消費電力	W	840(420~950)
2台運転	冷房能力	kW	2.3(1.3~2.5)×2
	運転電流	A	9.6(4.2~11.6)
	消費電力	W	1,750(720~2,130)
騒音		dB	49
製品質量		kg	57
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	高さ 幅 奥行 625×880×295+20(吹出口)
付属品			アース棒(1)

仕様・寸法図

■冷房用室外ユニット（3室マルチ型） DCS-563H-2IK型（インバータタイプ）



仕 様

型式			DCS-563H-2IK	
種類			冷房専用、セパレートタイプ	
電源			単相200V 50Hz	
1台運転	組合わせ室内ユニット		2.5クラス	4.0クラス
	冷房能力	kW	2.5(1.4~2.7)	4.0(1.5~4.3)
	運転電流	A	4.9(2.6~5.4)	7.9(2.6~9.5)
	消費電力	W	840(420~950)	1,440(420~1,730)
2台運転	組合わせ室内ユニット		2.5+2.5クラス	2.5+4.0クラス
	冷房能力	kW	2.3(1.3~2.5)×2	2.2(1.3~2.4)+3.5(1.4~3.8)
	運転電流	A	9.6(4.2~11.6)	10.7(4.2~13.0)
	消費電力	W	1,750(720~2,130)	1,960(720~2,390)
3台運転	組合わせ室内ユニット		2.5+2.5+2.5	2.5+2.5+4.0
	冷房能力	kW	2.0(1.2~2.2)×3	1.7(1.2~1.9)×2+3.0(1.4~3.3)
	運転電流	A	11.5(6.4~13.9)	12.7(6.5~14.2)
	消費電力	W	2,090(1,140~2,550)	2,330(1,160~2,620)
騒音		dB	49	
製品質量		kg	58	
外形寸法 高さ×幅×奥行		mm	高さ 幅 奥行 625×880×295+20(吹出口)	
付属品			アース棒(1)	